
これからも。

甲斐仁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

これからも。

【Nコード】

N5617C

【作者名】

甲斐仁

【あらすじ】

香奈とは、まるで姉弟のように育った。恋人を追って、東京へと出て行った香奈。香奈。俺はいま、幸せだ。

ただ、傍にいたいと願った。

叶わぬことと、知りながら。

「なあ、俺のことさ、どう思う?。」

「馬鹿だと思うよ?。」

あつさり言つてのけたコイツは、俺の幼馴染。
今年で、20歳。

「馬鹿つて…いや、そういう意味じゃなくてさ。俺のこと」

「うーん、弟かな…」

「あ、そう…」

弟、と口の中で繰り返した。

たしかに、兄弟のように育ったけれど。
でも。

俺は、お前を姉だと思ったことはない。

「なあ、本当に東京行くの?。」
「行くよ」

そんなに、あの恋人が大事か？

あの男を追って、ここを出ていくのか？

「行くなよ」

「行くよ」

そう言って、香奈は笑った。

その笑みは、幸福なもので、俺も笑うしかなかった。

「お父さん、ここどこ？」

あれから、もう20年近くたつ。

俺も、結婚した。子どもも、できた。

もうないと思っていた、恋をして。

愛する妻と、子どもがいて。

俺は今、とても幸せだ。

普通のことか、これほど幸福なことだとは。

「ここは、お墓だ」

「お墓？」

「あなた、御花を生けたわ。線香をつけて
妻が、線香とライターを渡してくれる。」

俺は、そつと線香を墓にたてた。

「ねえ、お母さん。誰のお墓なの？」

「お父さんの、お姉さんよ」

「お父さんに、お姉さんいたの？」

香奈は、死んだ。

東京に出て、2ヵ月後。

自殺、だった。

愛した男に捨てられて。

自ら、死を選んだ。

そつと、俺は墓の前に座り込んだ。

「香奈。なにも、してやれなかったな」

囁くように言っが、返事は勿論なにもない。

けれど。

「その方の分も、幸せになりましたしょう？」

俺の肩に、手が置かれる。

妻の、暖かな手。

「ああ、そうだな」

俺は、とても幸せで。

これから、生きていく。

香奈のときは止まってしまったけれど。

ただ傍にいたいと願ったあのころ。

たしかに生きていた、香奈。

香奈。

君も、今の俺のように。

あのころ、幸せだったのだろうか？

俺は、これから生きる。
愛するものたちと。

香奈。

俺は。

君を、忘れない。

お
わ
り

（後書き）

凄く短いのですが。

話的にはベタな内容ではあるのですが、こつこつ話好きなのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5617c/>

これからも。

2010年10月28日04時17分発行